

定住自立圏構想の概要

(1) 定住自立圏構想

- ◆ 都市圏への人口流出を防ぎ、地方圏への人の流れを創出するために国が推進している施策
- ◆ 人口5万人程度以上の要件を満たす「中心市」(飯塚市)が「近隣の市町村」嘉麻市、桂川町と協定を結び、「定住」に必要な生活機能を圏域で確保するため、役割分担し、連携することで圏域全体を活性化させるもの。
- ◆ 平成30年8月「嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン」策定
- ◆ 令和5年3月「第2次嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン」策定

(2) 定住自立圏の名称及び構成市町

- ◆ 名称: 嘉飯圏域定住自立圏
- ◆ 構成市町: 飯塚市(中心市)、嘉麻市、桂川町

(3) 定住自立圏共生ビジョン

【目的】

平成30年3月26日に飯塚市と嘉麻市、桂川町が1対1で締結した定住自立圏形成協定の内容を踏まえ、圏域としてめざすべき将来像とその実現に向けた具体的取組を示すもの。

【圏域のめざす将来像】

- ◆ 地域の魅力を積極的に発信できる圏域
- ◆ 地域の資源を有効活用し、住民の活力あふれる圏域
- ◆ 様々な世代の住民が安心して暮らせる圏域
- ◆ 各市町の人口ビジョン推計以上の人口となる圏域

【計画期間】

- ◆ 定住自立圏共生ビジョン : 平成30年度～令和4年度
- ◆ 第2次定住自立圏共生ビジョン: 令和5年度～9年度



連携事業の概要(将来像の実現に向けた具体的取組)

【生活機能の強化】

- ①夜間急患センターの広域運営
- ②在宅当番医制度の維持・確保
- ③病院群輪番制事業の広域運営
- ④地域包括ケア推進センターの広域運営
- ⑤地域活動支援センターの広域運営
- ⑥障がい者基幹相談支援センターの広域運営
- ⑦子育て支援センターの相互利用
- ⑧病児・病後児保育施設の広域運営
- ⑨休日等子育て支援体制の構築
- ⑩図書館の相互利用
- ⑪体育施設の相互利用
- ⑫地場企業支援と雇用拡大の促進
- ⑬産学官連携の促進
- ⑭消費生活センターの広域運営

【結びつきやネットワークの強化】

- ⑮赤字路線バス運行補助
- ⑯地域公共交通連携の推進
- ⑰圏域外からの移住の促進
- ⑱地域資源を活かした圏域活性化の促進
- ⑲戦略的な広域観光の振興
- ⑳防災拠点等への公衆無線LAN環境整備の促進

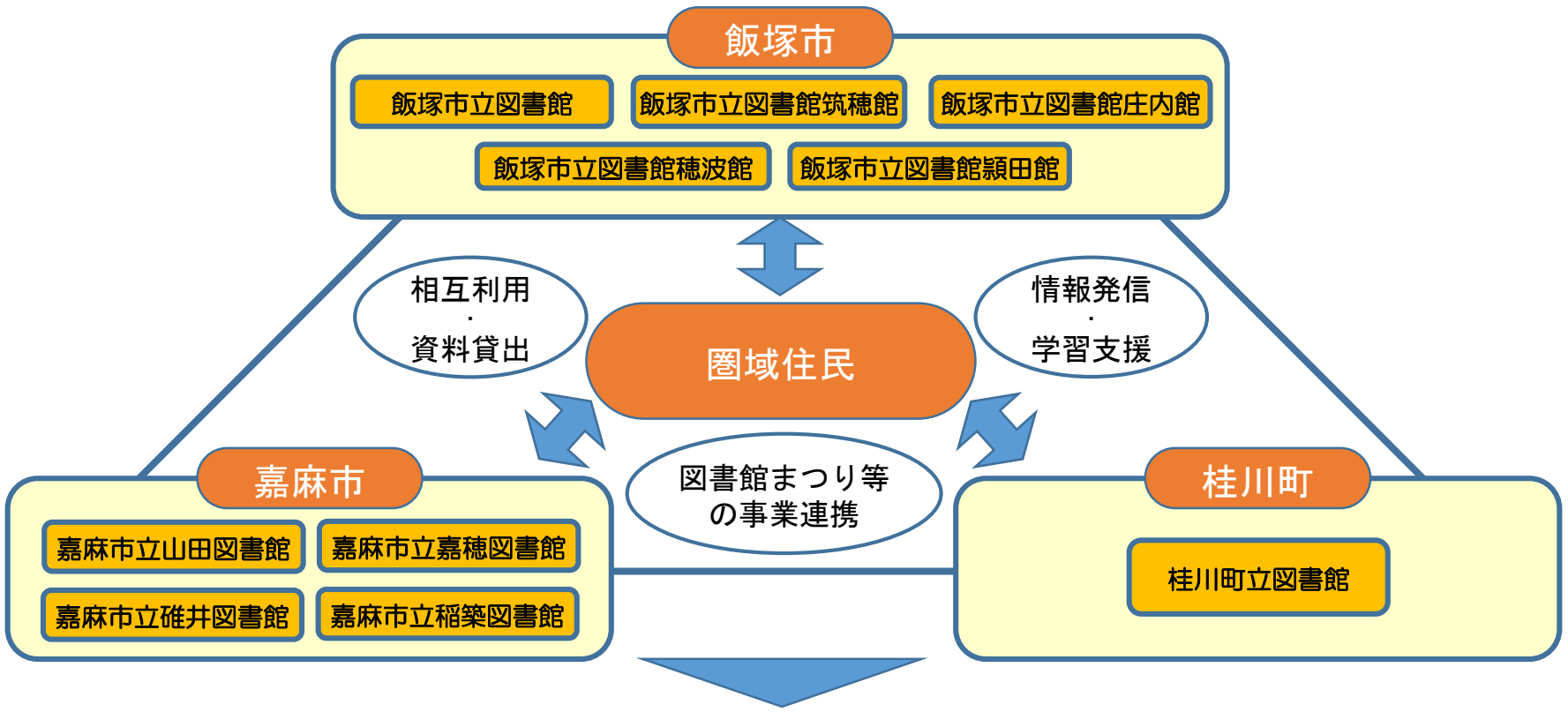
【圏域マネジメント能力の強化】

- ㉑圏域市町職員等の交流及び人材育成の促進

図書館の相互利用について

【事業概要】

図書館における資料等の貸出しについては、市町在住及び勤務者等に行っているが、圏域住民の図書館利用を促進するため、圏域住民が自由に利用できる図書館となるよう環境整備を実施する。また、情報発信機能や生涯学習支援の機能を充実させ、にぎわい創出や地域の課題解決を支援することで、地域の活性化に寄与する施設となるよう取組みを強化する。



圏域住民が圏域内の図書館を自由に利用できるようになり、圏域住民の利便性が向上する。利用者を増加させ、図書館の情報発信機能や生涯学習支援機能を有効活用し、地域を活性化する。

図書館相互利用に係る域外利用者等(統計)

(1)域外(登録者数)

		登録者数			
		R3年度	R4年度	R5年度	合計
飯塚市	嘉麻市より	76	81	67	224
	桂川町より	25	20	27	72
	小計	101	101	94	296
嘉麻市	飯塚市より	50	45	57	152
	桂川町より	13	7	11	31
	小計	63	52	68	183
桂川町	飯塚市より	54	48	64	166
	嘉麻市より	31	26	28	85
	小計	85	74	92	251
合計		249	227	254	730

(2)域外(利用者数)

		利用者数			
		R3年度	R4年度	R5年度	合計
飯塚市	嘉麻市より	1,752	1,757	1,930	5,439
	桂川町より	659	727	740	2,126
	小計	2,411	2,484	2,670	7,565
嘉麻市	飯塚市より	684	926	1,215	2,825
	桂川町より	147	227	239	613
	小計	831	1,153	1,454	3,438
桂川町	飯塚市より	863	1,194	1,324	3,381
	嘉麻市より	554	728	737	2,019
	小計	1,417	1,922	2,061	5,400
合計		4,659	5,559	6,185	16,403

(3)域外(貸出資料数)

		貸出資料数(本・雑誌)			
		R3年度	R4年度	R5年度	合計
飯塚市		9,394	9,304	10,256	28,954
嘉麻市		3,511	4,664	4,967	13,142
桂川町		6,663	8,961	8,910	24,534
計		19,568	22,929	24,133	66,630

		貸出資料数(視聴覚資料)			
		R3年度	R4年度	R5年度	合計
飯塚市		1,183	1,169	928	3,280
嘉麻市		336	631	949	1,916
桂川町		368	571	834	1,773
計		1,887	2,371	2,711	6,969

(その他)連携における課題への取組について

【令和5年度実績】

(1)「講座・研修会の共同開催」

飯塚市・嘉麻市・桂川町の図書館ボランティア(読み聞かせ・朗読・制作)を対象にアニメーション(子ども達に読書の楽しさを教えるための指導法)の手法を学ぶ講座を実施した。また、ボランティア活動のスキルアップを目指すため、各市の取組についての意見交換を実施。

日程:令和6年2月7日(水) 午前10:00～

会場:イイツカコミュニティセンター 学習室401

参加ボランティア:19団体(36名)

(2)「広域チラシ(飯塚市・嘉麻市・桂川町共通)」

図書館広域利用の促進を目指すため、チラシのデザインや内容について再検討。



(図書館広域利用の注意点)

- ◆ 開館日時や利用方法はそれぞれの図書館によって相違
- ◆ 初めて本を借りる方は、住所が確認できるもの(健康保険証、免許証、学生証など)を持参
- ◆ 本を借りるための貸出しカード(利用者カード)は、利用する自治体ごとに必要
- ◆ 借りた本は、借りた市町の図書館に直接返却
- ◆ 利用にあたっては、各図書館のルールを順守

お気に入りの本は、
ここにもありました。

嘉飯桂地区
図書館広域利用の
ご案内

平成30年10月から、飯塚市・嘉麻市・桂川町のそれぞれの図書館で、広域利用が可能になっています。

地区内にお住まいの方は、各市町の図書館利用ができます。利用できる図書館は裏面のとおりです。

ぜひ、ご利用ください。

図書館広域利用にあたってのお願い

- 開館日時や利用方法はそれぞれの図書館によって異なります。詳しくは、利用したい図書館にお尋ねください。
- 初めて本を借りる方は、住所が確認できるもの(健康保険証、免許証、学生証など)をお持ちください。
- 本を借りるための貸出しカード(利用者カード)は、利用する自治体ごとに必要になります。
- 借りた本は、借りた市町の図書館に直接お返しください。
- 利用にあたっては、各図書館のルールを守ってください。

イヅカコミュニティセンター大規模改修事業について

施設の維持管理及び利用者への快適な学習環境の提供や安全性の確保のため、大規模改修を行うもの。

1. 改修場所 飯塚市飯塚14番67号 イヅカコミュニティセンター(全体)

2. 施設概要 ○建築年月日 平成8年2月

○構造(本体) 鉄筋コンクリート造、一部梁プレストレストコンクリート造 地上4階 塔屋1階

延床面積:7,802.883㎡

(駐車場・駐輪場) 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 平屋 延床面積:161.13㎡

3. 工事内容

空調設備改修工事、受変電設備改修工事、トイレ改修工事、外壁改修工事、特定天井改修工事、OA改修工事、2階吹抜け防音対策工事、3階サンクスホール改修工事

4. 発注について

令和6年度下半期より、各々の工事を順次発注(施工準備の取り掛かり)

5. 工事期間

令和7年5月より施工開始予定、令和8年1月末にすべての工事を完了予定

6. 休館期間 令和7年5月～令和8年2月 中央公民館(及びサンクス)

令和7年5月～令和8年3月 飯塚図書館

(※コミュニティセンター休館中の代替施設等は、近隣公共施設の活用を検討中)

会 議 録

会議の名称	第2回飯塚市立子ども図書館整備等検討委員会
開催日時	令和6年3月21日(木) 14時00分～15時36分
開催場所	イイツカコミュニティセンター 学習室301・302
出席委員	垂見委員、松原委員、和多委員、田中委員、木村委員、森委員、平田委員、中堀委員
欠席委員	宮嶋委員、笛田委員
事務局職員	【教育委員会】中村生涯学習課長、石川生涯学習課長補佐、村岡中央公民館・図書館係長、面高中央公民館・図書館係、黒川中央公民館・図書館係、三溝生涯学習ひろば整備担当主査、江頭生涯学習ひろば整備担当
発言者	発言内容
事務局	会議の冒頭において、工事着工時期の変更についての報告
	議案（1）基本設計について
事務局	資料1「基本設計説明資料」及び「平面図」をもとに説明 基本設計についての意見を伺う。
委員長	議題1についてご意見等あればお願いしたい。
委員A	冒頭に説明いただいた工事着工時期の変更等については、今いただいているスケジュールから更に変更するということか。
事務局	スケジュールについては、後程説明させていただくが、配布しているスケジュールは変更後の内容となっている。
委員A	できれば早めに完成してほしいが、急いで工事に入り、不十分なものになるのはもったいないため、時間をかけてでもきちんと予算を確保した上で進めていただきたい。また、昨年度末にワークショップを開催したが、参加してくれた小学生も一つ年をとり、新たな考えが出てきているかと思うので、改めて意見交換の場を設けると非常に有意義な時間になるのではないかと思う。

事務局	ご意見いただいた通り、少しでも有意義な子ども図書館整備事業となるよう、きちんと予算を確保した上で、より細かな内容まで突き詰めた検討を進めていきたい。
委員 B	資料に最終案と記載されているが、まだ確定ではないということか。
事務局	不明確で申し訳なかったが、レイアウト図面も含めて、手元の資料が決定事項という形で考えていただきたい。
委員 B	1階開架エリアの通路は、双子用のベビーカーも通れるような広さがあるか。また、エレベーターについても、双子用ベビーカーの利用は可能なのか。穂波交流センターに設置されているエレベーターは双子用のベビーカーが入らない。
事務局	正直なところ、双子用ベビーカー利用時の想定まではできていなかったため、関係各所へ確認を行う。
委員 B	子ども図書館であるため、是非検討をしていただきたい。1階開架エリアの寝そべりスペースには靴箱は置かないのか。
事務局	寝そべりスペースへの靴箱設置は今のところ考えていない。1階のおはなし部屋については、靴箱を設置する方向で検討している。
委員 B	寝そべりスペースに靴箱を置かないとなると、おそらく通路付近に脱いだ靴を置いたままにするのかと思うが、その通路をベビーカーが通るという想定はされているのか。十分なスペースは確保されているのか。
事務局	寝そべりスペースへの靴箱設置については、内部で改めて検討を進めたい。
委員 C	いただいている平面図だけでは、子どもたちは特に、具体的な完成後のイメージがつきにくいと思う。
事務局	現在設計が大詰めの状況であり、図面などについては、最終確認を行っているため、本検討委員会でお見せすることができなかった。今後、ワークショップなどを開催する機会に、立体図のような資料をお示しできればと考えている。

委員 D	<p>先ほどのベビーカーの話だが、双子用のベビーカーのサイズは通常 90 cm 程度、コンパクトなタイプだと 67 cm 程度の作りの物もある。寝そべりスペース前の通路の幅は、120 cm 程度と記載されていることから、おそらく本棚と本棚の間はベビーカーが通るのだろうなという推測はできた。普段経験されている現場感から、その程度のサイズで問題はないのかご意見があれば聞きたい。</p>
委員 B	<p>意見等は特にないが、勤務先である穂波交流センターや、他の施設のエレベーターも含め、双子用のベビーカーが入る設備がなかなかないという話はよく耳にしている。</p>
委員 D	<p>エレベーターについては、縦型のベビーカーとなると、コミュニティセンターのエレベーターでも入りきれないと思う。縦型のベビーカーが入るエレベーターの設置は、建物の収容人数を考えた時に厳しいと考えられる。我々が提案する全ての要望を満たすというのは現実問題難しい部分があると思うので、エレベーターの形としては横型のつくりで良いかの確認をさせていただいた。</p>
委員 B	<p>横型で問題なし。</p>
委員 D	<p>最後に靴箱については、安全面を考慮し靴箱を置いていない図書館も存在はしているようだ。靴箱を設置するとなると、靴箱の向きや配置など、細かな設計面も含めて検討しなくてはいけなくなるため、設計業者と意見交換しながら進める必要があると思う。</p>
委員長	<p>目安の時間となったため、議題 1 は以上とさせていただく。 基本設計説明資料について、追加で意見がある場合は、会の最後にお問い合わせしたい。 続いて、議題 (2) 子ども図書館での事業「九州工業大学との連携」について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料 2「子ども図書館での事業」をもとに説明 また、モーションキャプチャーやクイズラリー等のデモンストレーション動画を放映し、事業の進捗状況を報告 議題 (2) についての意見を伺う。</p>
委員長	<p>様々な運用面での工夫を考えていただいているということだが、本件について意見があればお願いしたい。</p>

委員 C	<p>クイズラリーについて、設問に関連する書籍を近くに陳列することで、子どもの読書活動を推進するという目的は、まさに図書館で行う取組の醍醐味だと感じた。利用者の学びが大きく深まるように、案内人やサポート役の職員などを配置できると尚よくなるのではないかと考えている。</p> <p>計算アプリについては、他の内容での検討も可能だと考える。例えば、「数字って何だろう？」という疑問に着目し、数字の歴史を学ぶなど、決して、計算が早くなってほしいことが目的ではないだろうから、なぜ数字や算数を学ばないといけないのだろうという疑問を解決できるような取り組みができればいいなと感じた。</p>
委員 B	<p>モーションキャプチャーは、前回の図書館運営協議会で紹介いただいたと思うが、あの状態から変わった箇所はあるのか。</p>
事務局	<p>少しだけ変わっている。</p>
委員 B	<p>楽しさがわからないという理由などから、あまり好評ではなかったと思うが。</p>
事務局	<p>デモ画像のとおり運用するのではなく、まずはこのような取組が、ChatGPT 等のアプリケーションを使えば費用をかけずにできるということを報告させていただいたものである。原理は、資料にも掲載しているが、ゆめタウン飯塚にあるような設備を想像している。どの程度のものが作成可能かという点は、引き続き研究を進めていく。</p>
委員 B	<p>楽しい物を作っていただきたいと思う。</p>
事務局	<p>先ほども説明があったが、現在のところ、大学側には善意で協力いただいているだけの状態。費用をかけるとなると、現実的にも新たな問題が出てくることが予想されるが、やはり必要な経費はかけた上で、より内容の濃いものを、大学や企業の協力を得ながら進めていきたいと考えている。</p>
委員 A	<p>先日、まちづくり協議会主催の科学実験教室に参加させていただいた時に、九州工業大学の方と話をする機会があった。子ども図書館に、科学実験が楽しめる部屋を作る件を飯塚市とも進めているという話を聞き、非常にありがたいなと嬉しく感じた。</p> <p>子ども図書館には、幼いころに利用していた子どもたちが、年齢を重ねて大人になっても引き続き行きたいと思える、地域の受け皿のような場所になってほしい。</p>

委員 D	読書ボランティアや読み聞かせボランティアの活動の場所は、2階の多目的室となり、そこで準備されたものを用いて、寝そべりスペースなどで読み聞かせを行うというイメージだと思うが、その方々の荷物置場は、倉庫の中になるという想定か。
事務局	おっしゃる通り、施錠が可能な倉庫の利用を考えている。
委員 D	前回の会議で、開架スペースに限りがあるのであれば、閉架書庫を開架に変更する話や、多目的室と閉架書庫のスペースを入れ替えたりする話、また、閉架書庫の飯塚市立図書館との併用は難しいなどの話があったかと思うが、その路線に変更はないか。
事務局	再度、事務局と指定管理者で話し合いを行った結果、変更なしとさせていただいている。
委員長	開館スケジュールが後ろ倒しになったことを逆手にとり、さらに中身を充実させる時間として使い、今後とも検討を重ねていただけたらと思う。時間の関係上、次の議題に進ませていただく。議題3「今後のスケジュールについて」事務局より説明をお願いしたい。
事務局	資料3「子ども図書館整備スケジュール」資料をもとに説明議題(3)についての意見を伺う。
委員 D	着工が遅れたことで、この委員会は、また一年間ほどやり取りがなされるのか、今後の委員会としてのスケジュールをお聞きしたい。
事務局	本委員会については、令和5年度で終了とする方向で考えているところである。委員会としての活動は以上であるが、市民の皆様とのワークショップなどを開催し、皆さんからいただいた意見を取り入れながら進めていきたいと考えている。
委員長	本件に関わらず、議事1、2についても発言を許可する。
委員 C	エレベーターの件だが、エレベーター自体は今ある年季の入ったものから新しい物に交換されるのか。
事務局	エレベーター自体は新しくする予定である。
委員 C	新しくするのであれば、双子用のベビーカーが入るようなエレベーターを設置することは可能なのではないのか。

事務局	エレベーターについては、既存のエレベーター自体は新しいものに入れ替えるのだが、建物の構造上、サイズの変更などは難しいところである。
委員 C	<p>サイズの変更が可能になった場合は、多少お金をかけてでも検討を進めていただきたい。</p> <p>倉庫について、お話し会や紙芝居で使う道具は大きなものが多く、かつ壊れやすい物も含まれているので、できれば道具の保管ができるような大きめの倉庫が使えるとありがたい。</p>
事務局	活動に必要なものについては、保管ができるようなスペースの確保を検討していきたい。細かな割り当てについては未定であるが、今後話し合いを進めながら検討していきたい。
委員 B	1階寝そべりスペースには本棚はあるのか。
事務局	図面ではわかりにくいと思うが、壁際に本棚のようなイラストが描かれていると思うが、こちらは全て本棚を設置する予定である。
委員 B	寝そべりスペースは、0、1、2歳は行ける場所のような想定か。
事務局	0、1、2歳の小さなお子さんはもちろんだが、それに限らず、幼稚園児やもう少し年齢を重ねたお子さんも入れるような場所と考えている。
委員 B	本棚について、穂波子育て支援センターには、ハイハイをする赤ちゃんの目に留まるように、本棚の下部に配架する書籍の表紙が正面を向くような構造の本棚が設置されている。これがとても評判がよく、小さな子どもの読書への興味関心を引くツールとなっているため、是非子ども図書館でも導入の検討をしていただきたい。
事務局	導入する本棚について、具体的な種類等は決まっていないが、今いただいた意見を参考に選別を行っていきたい。
委員 B	常設科学展とはどのような部屋なのか。
事務局	大学との連携に関係してくるのだが、サイエンスモールを始め、様々なイベントを実施するスペースとして考えている。また、大学が所持している科学を楽しむことができる備品などを置き、自由に利用可能なスペースとする。また、特にイベントの実施予定がない時は、机や

	<p>イスを配置し、静かに読書ができるスペースとして活用していきたいと考えている。</p>
委員 C	<p>3月末に具体的な図面が完成するとのことだが、私たちも確認できる機会をいただくことができればありがたいのだが、何か機会があるのか。</p>
事務局	<p>委員会という形でお見せすることはできないが、ワークショップなどの場で皆様にお見せすることができたらと考えている。</p>
委員 B	<p>一般図書は置く予定はあるのか。2階の蔵書数に含まれているのか。</p>
事務局	<p>子育てに関する本などは置く予定であり、一般書が全くないわけではないが、科学や言語に関する本を置きたいという思いがあるため、そのような本を多く取り入れていきたいと考えている。</p>
委員 B	<p>館内に配架する本の種類を決めるのは図書館の方なのか。</p>
事務局	<p>指定管理者である図書館スタッフや資料選定委員の方々と話し合いながら決めていきたいと考えている。</p>
委員 B	<p>新聞はどうか。</p>
事務局	<p>未確定ではあるが、隣の穂波交流センター内に、新聞などを自由に見ることのできるスペースを設置したいと考えている。</p>
委員 B	<p>既にその話は交流センターとしているのか。</p>
事務局	<p>相談はしているが、設置場所も含めまだ決定事項ではない。</p>
委員 B	<p>交流センターは基本的には設置を許可してくれているということで間違いはないか。</p>
事務局	<p>まだ決定事項ではない。</p>
委員 B	<p>もし却下された場合は、代替案を考えるとということか。</p>
委員 C	<p>当初の話では、大人の方も利用をしていた施設であるため、そのような方を排除しないような施設にするというのがこの委員会の意見であったと思う。</p>

委員 B	<p>数回欠席した間に大きく方向性が変わってしまっているように感じている。当初は一般図書も置くという話であったと思う。誰でも利用できる図書館と言っておきながら、新聞もないようでは来る意味も薄れるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>子ども図書館のコンセプトを考えた時、やはり子どもに特化した施設を作りたいと考えているため、新聞や一般書については、私共も必ずしも置くべきだとは考えていない。一方で、現在穂波図書館に新聞目当てで来られている方への代替手段として、少し距離はあるが、交流センターと連携し対応ができないかという協議を進めているところである。</p>
委員長	<p>委員会の性質上、あらゆる立場からの意見を集め、昨年意見書という形で提出させていただいた。</p> <p>事務局側としては、いろいろな意見を理解した上で、子ども図書館は子どもに特化した施設にすると判断されたとは個人的には理解している。その解釈自体、一般の方が少し利用しづらくなるということはあるかもしれないが、全国的な子ども図書館の動向を見ても、決して間違った判断だとは思わない。</p>
委員 C	<p>前回の意見がきちんと引き継がれていない部分もあるように感じている。決定事項を変更するのであれば、きちんと委員会で報告すべきだと思うし、未確定事項については事務局で検討しますと発言されているが、何か問題が起きた場合の責任は完全にこちらで持ちますと言っていたきたい。蓋を開けてみると全然違う方向性になっているという状況にはならないようお願いしたい。</p>
委員 B	<p>新聞以外にも、ファッション誌や月刊誌などは置かないのか。</p>
事務局	<p>先ほども申し上げたが、子ども図書館のコンセプトの中に、ファッション誌をはじめとする月刊誌関係は入っていないというのが正直なところである。</p>
委員 B	<p>どのような本がコンセプトに入っているのか。ファッション誌など親は見ると思うが。</p>
事務局	<p>ファッション誌も全く置かないと決定しているわけではないが、例えば子育て関連の雑誌や書籍を想定しているところである。今後も様々な意見をいただきながら進めいきたいと考えている。</p>

委員長	<p>絵本は大人が子どもに呼んであげるといふ考え方があるため、子ども図書館に来た時には、大人向けの一般図書や雑誌を読むのではなくて、子どもと一緒に楽しんでくださいという位置付けは問題ないと考えている。</p> <p>時間的に意見はもう一つくらいにさせていただきたい。</p>
委員 B	授乳室には鍵はついているか。
事務局	安全面も含めて、鍵は必要だと思うため、設置する方向で考えたい。
委員 B	学習室になるような場所はあるのか。利用者が多目的室を借りたいとなった場合、貸していただけるのか。
事務局	<p>学習室という名の部屋は作っていないが、2階には自由に使える机を置いているため、そこを学習スペースとして利用することはできる。</p> <p>多目的室について、利用がない場合は、利用者に開放するなど利用率を上げるためにも良い案を考えていきたいと思う。</p>
委員 B	平面図の②④番が机とイスになるのか。
事務局	②④番の箇所がカウンターテーブルとなっており、自由に本を閲覧することができる。
委員 B	勉強もできるのか。
事務局	勉強もできないことはないが、果たしてこのスペースが勉強に適しているのかは、はっきり申し上げられない。
委員 D	<p>改修案の2階と書いてある資料があると思うが、その開架室の説明の中に、壁際には学習机を設置し、本を読んだり学習したりすることができるスペースを確保する。また、常設科学展においても、授業がない時間は開放し、読書活動のスペースとして活用するとあるため、記載のとおり運用になるのではないかと思う。</p> <p>穂波交流センターの1階には、自由に腰かけることができるカウンター席が並んでいるため、仮に図書館の学習スペースが定員オーバーになった場合は、こちらの施設を利用するなどの方法をとってもいいのではないかと考えている。</p> <p>夏休み期間などは、学習スペースを無償で開放している交流センターもあるようなので、穂波でそのような運用をすることも一つの案だと考える。</p>

委員 B	Wi-Fi の設置はどのようになっているか。
事務局	市の方針としても、確たる理由がない場合は、フリーWi-Fi の設置を認めていない状況であるため、よほどの理由がない限りはフリーWi-Fi の設置は認められないと考えている。
委員長	予定時間になったため、このあたりで閉会とさせていただく。まだ発言しなかった内容もあるかと思うが、今後のワークショップなどの際にお願いしたい。
事務局	閉会の挨拶
	終了 15 時 36 分
会議資料	<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度 第 2 回飯塚市立子ども図書館整備等検討委員会レジュメ ・ 資料 1 (基本設計説明資料) ・ 資料 2 (子ども図書館での事業「九州工業大学との連携」) ・ 資料 3 (今後のスケジュールについて)
公開・非公開の別	1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 1 人)
その他 (非公開理由等)	

子ども図書館に関する要望等の協議状況について

福祉文教委員会資料
令和6年8月6日提出

意見・要望等	協議状況
<p>0歳から5歳までは子育て支援センター、6歳から上の子どもが子ども図書館を利用するにあたってどう考えているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館と穂波子育て支援センターは同じ敷地内にあり、小学生のお子さんを子ども図書館に送り届けた後、乳幼児のお子さんと保護者が子育て支援センターで過ごしていただきたいと考えています。 ・施設外の駐車場における安全管理については、保護者の管理のもと施設を利用していただくことを想定していますので、その部分について職員による安全管理を行うことは難しいものと考えています。
<p>小学生の児童が1階で事故を起こしたらどうするのか。小学1～2年生の児童が1人で2階にいていいのか。安全性の確保は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『図書司書については、子ども図書館になるにあたり5名ほどに増員したい。その中で、1階のメインカウンターとは別に、開架室にも小さなカウンターが配置できるスペースを作り、2階にも図書司書を配置できる体制を整えて運営していきたい。』（R5年度第1回）
<p>教育部と福祉部で情報を共有しながら新しい子育て支援の可能性について調査研究してもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館と子育て支援センターの連携については、生涯学習課とこども家庭課、こども政策課の3課で協議を行っており、事業連携や連携方針については、今後も協議を継続してまいります。
<p>検討委員会で学習室の問題が出ていた。どういう意味の学習室になるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『学習室という名の部屋は作っていないが、2階には自由に使える机を置いているため、そこを学習スペースとして利用できる。多目的室について、利用がない場合は、利用者に開放するなど考えていきたい。』（R5年度第2回） ・『学習スペースがほしいという意見があったため、壁際に小さな机とイスを置き、個別に勉強したり読書をしたりできる空間を作ろうと考えている。』（R4年度第5回）
<p>平成22年当時の地元の要望、ニーズが今も変わらないのか。今のニーズを引き出して、デザインなどもまちづくりの一つとして考えてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『急いで工事に入り、不十分なものになるのはもったいないため、時間をかけてでもきちんと予算を確保した上で進めていただきたい。また、昨年度末にワークショップを開催したが、改めて意見交換の場を設けると非常に有意義な時間になるのではないかと思います。』（R5年度第2回）
<p>(子育て支援センターとの連携について) <ul style="list-style-type: none"> ・絵本などの蔵書（同じものがかぶらないように） ・安全面（就学児童のみでの図書館の利用時） ・連携事業や方針などの早目の協議 ・市がリーダーシップを取って、指定管理者と支援センターとしっかり打ち合わせし進めてほしい </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館と子育て支援センターの連携については、生涯学習課とこども家庭課、こども政策課の3課で協議を行っており、事業連携や連携方針については、今後も協議を継続してまいります。